

## Ⅱ. 小学部の概説

### 1. 児童の実態

多様な障害のある児童が在籍し、個々の発達段階や障害特性に応じたきめ細かな教育的対応や「個のニーズ」と「集団のニーズ」に応じた支援を必要としている。

全般的に言語・コミュニケーション領域や社会性領域の課題のある児童が多く、集団行動への主体的な参加を促すことや、他者との積極的なかかわりの中で自己調整する力を育てることが求められている。生活領域においては、学校生活全般にわたって援助を必要とするため、身辺処理面など、基本的な日常生活上の指導を徹底している。また、摂食、移動の安全、てんかん発作、心疾患の経過観察や運動の制限への配慮など、健康管理においては家庭との連携が必須である。

以上の実態から、学習全般にわたって個に応じた指導が要請され、集団を基盤とした学習場面では、児童が互いに学び合えるような工夫した指導の展開が求められている。

### 2. 教育目標

#### 1) 学部教育目標

- ・日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ、活動の流れを見通して主体的に活動に取り組む力を育む。
- ・環境の把握により、身近な自然現象や社会現象に気づき、興味・関心を育む。
- ・他者とのかかわりや、さまざまな集団活動を経験しながら、社会のルールを知り、自ら活動に参加する力を育む。
- ・身体活動を楽しみ、運動経験を豊かにすることを通して、身体諸機能の向上をはかり身体調整力および安全に関する判断力を育む。
- ・もっている能力や代替手段を活用することを通して、意志や感情を豊かに表現し、他者とコミュニケーションする力を育む。

#### 2) 学年目標

##### (1) 小学部1・2年（はな組）

- ・衣服の着脱、排泄などの基本的な生活習慣を身につけ、興味関心をもって活動する。
- ・身近な色、形、大きさなどを見分け、かずやことばへの関心をもつ。
- ・見る、聞く、話す、表現するなどの活動を進んで行い、身近な事物や出来事を経験する。
- ・指示や注意を聞いたり、周りの状況を見たりして、教員や友だちと一緒に行動する。
- ・活動の流れに慣れ、見通しをもちながら行動し自己の役割を知る。
- ・教員との愛着・共感・共有により、安心して活動に参加する。
- ・身の周りの事物にふれ、音楽や造形に興味をもち、自分なりの表現する。
- ・楽しみながら遊びや身体活動を行う。

## (2) 小学部3・4年（つき組）

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、指示を聞いて自ら行う。
- ・ 文字や数に興味を持ち、名前や仮名を読んだり簡単な数をかぞえたりする。
- ・ 友だちや教員に、自分が経験したことや気持ち、感情を伝える。
- ・ 生活の中のルールや約束事に気づき、危険を避けたり注意を聞いたりする。
- ・ 友だちや教員と一緒に、道具の片付けや掃除などの作業的活動に参加し、自己の役割を遂行し、他者の役割を知る。
- ・ 友だちや大人との集団の中で、できることやわかることを積み重ね自信をもって、他者と関わる。
- ・ 身の周りの事物、出来事などに関心を持ち、音楽や造形等、楽しみながらさまざまな表現活動をする。
- ・ 友だちや教員と元気にふれあい、種々の遊びや身体活動、簡単なルールのある遊びを経験する。

## (3) 小学部5・6年（そら組）

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、生活の流れに合わせて行動する。
- ・ 生活の中で使うことばや文字、シンボル（サインや絵等）に関心を持ち、自ら考えて活用しようとする。
- ・ 相手の気持ちや考えを知ろうとしたり、友だちや教員に、自分が経験したことや気持ちを伝えたりする。
- ・ 学校や社会の身近なきまり（交通ルール、公共施設の使い方等）を知り、安全に注意して、約束を守ろうとする。
- ・ 役割や共同の活動の中で、周囲の期待に応じて自ら活動する。
- ・ 家庭や学校での簡単な手伝いや役割に取り組み、協力して生活する。
- ・ 音楽や造形等の表現活動へ意欲的に取り組み、身のまわりの自然や社会的な出来事への関心を高める。
- ・ いろいろな基本運動（走る、ボール運動等）に自ら取り組み、簡単なルールのあるゲームに参加する。

## 3. 指導形態と内容

### 1) 日常生活の指導

児童の身近活動に関わる知識の理解や技能の向上のみならず、社会生活を営む上で、基本的な生活習慣の確立をめざし、集団の中で主体的に活動する力を育む。個や集団の実態に応じて、必然性のある多様な指導機会を活用し、集団生活の中で活動意欲を育て生活態度を身につける。項目ごとのねらいは以下に示す。

#### ①きがえ

きがえでは、援助の程度を考慮しながら自分で衣服の着脱できるようにすることをねらいとしている。主な指導内容は、前後裏表に気をつけて着脱すること、鏡を見ながらそで口、襟元、すそなどを整えること、衣服を畳むこと、ハンガーに掛けることなどを重点としている。また、適切な場所できがえができることも、ねらいとしている。

## ② 食事（給食）

食事（給食）では、教員からの言葉かけや促しなどの援助をうけながら、手洗いから片付けまでの食事の一連の流れがわかり、自分で食事ができるようになることをねらいとしている。食器の使い方やこぼさないで食べるなどの食事の技能、さまざまな食感や味覚に慣れること、あいさつする、口をふく、座って食べるなどの食事の態度やマナーの指導を重点としている。

## ③ 排泄

排泄では、教員からの援助をうけながら、排泄の一連の流れがわかり一人で排泄できるようになることをねらいとしている。尿意便意を伝える、衣類などの扱い方、排泄後の拭き方、水の流し方、手洗いの仕方などが、主な指導内容である。さらに、カギの掛け方、学校以外のトイレの利用方法などの指導に重点を置いている。

## ④ 清潔

学校生活の中では、手洗い、うがい、歯磨き、鼻かみなど、衛生面について繰り返しながらし、教員の段階的な援助を受けながら集団の中で習慣化していく。また、活動経験を重ねる中で、自らできることを増やし、併せて健康管理への意識を高める。衛生・健康管理については、家庭生活との関連も強く、学校・家庭相互の協力と連携を大切にしている。

## ⑤ 休み時間の過ごし方

昼休み等の休み時間には、身体を動かすことを中心とした自由遊びを行い、教員や友達と一緒に好きな遊びを見つけ、関わりながら遊びを深めることをねらいとしている。教員と一緒に遊びから、徐々に教員を介した遊びと移行し、友達同士の遊びへと広げていけるよう誘導している。また授業間の休み時間には、次の学習の準備をし、スムーズに授業へ参加できるよううながしている。

## ⑥ 支度・片付け

登下校時の身支度を中心とした毎日の繰り返しの流れの中で、手順を知り、自ら行おうとする意欲、態度を育てることをねらいとしている。教員の身体援助や言葉による援助などの人的援助や写真カードや手順表などの環境的援助を手がかりにして、自らできる場面を増やせるようにしている。

## ⑦ 清掃

身の回りの環境を、大人と一緒にきれいにする経験を積み、次第に自分でも汚れに気づき、清掃する意識を高めることをめざす。例えば、雑巾を絞りふくこと、食べこぼしを始末すること、活動後に出たゴミを捨てること、ゴミを分別することなどをねらいとしている。

## ⑧ 登下校

学部では保護者と登下校することを原則としている。安全な歩行や移動をめざし、危険予測、経路の確認、公共交通機関の利用方法などを経験し、個々や集団に応じて段階的に学ぶ。単独登下校へ向けて、手つなぎ、付き添い、大人の見守りへと、援助の段階を変え個に応じて支援している。

## ⑨ あいさつ

自分から気持ちのよい挨拶ができることをねらいとしている。家族や教員、友達とのあいさつを毎日繰り返すことで、声の大きさ、視線、姿勢、動作など基本的な型を身につけ、場面に応じたあいさつを知り、あいさつは人間関係において大切であることに気づけるようにする。

## ⑩ ルール・マナー

学校・家庭・社会生活にはきまりがあることを知り、守ろうとする態度を育てる。身近な大人を手本とし、きまりを少しずつ理解し守れるように授業や校外学習では目標などを通して働きかける。マナーについては、お互いが気持ちよく過ごすために必要なことを、その都度伝えていく。

## 2) 生活単元学習

生活文脈や児童の興味・関心に基づき、行事単元や季節単元に加え、学級習団に応じた単元を設定している。単元では、経験をいかし活用するという発展的な学習場面を設定し、家庭に役立つ「知識・技能・課題解決する力」を育む活動が展開される。学習活動を通して、学級集団の共同の活動における役割の理解と遂行、協同・協力といった目標を中心に据え、同時に児童が活動に対して自信をもち、周囲の期待に応えようとする力を育んでいる。

## 3) 音楽

学部集団または学級ごとに、「音楽」を設定し、歌唱・器楽・身体表現・鑑賞の柱に基づいてして活動が展開される。音を聴き合わせること、簡単な合奏すること、人前で演奏することなどを大事にししながら、友だちと一緒にいる音楽活動の経験を大切にしている。音の変化や違いに気づいたり、さまざまなジャンルの音楽を聴いたり、触れたりしながら、音楽への興味関心の幅を広げ、豊かな音楽性を養うことをねらっている。

## 4) 造形

個々の発達差が大きいという実態を踏まえ、年間を2つに分けた「縦割りのグループ活動（感触・見立て・操作）」と、「学級集団」で指導している。感触グループでは、素材との関わりを重視し様々な感触にふれること、見立てグループは、テーマに沿い、基本的な素材や道具を使って表現すること、操作グループは、道具を扱う基本的なスキルを高めたり、自分の伝えたいイメージを描きながら表現したりすることをねらっている。学級集団での活動は、個々の発達段階を考慮し、大塚祭（学芸会）の展示発表など、一つの目標に向けて学級内で役割を分担し個や集団をいかした創作活動が展開される。

## 5) 体育

学部全体での「体育」の授業は、基本運動、協調運動、応用運動などの運動を幅広く取り扱い、学部全体または各学級での「運動」の授業では、基礎的な力や基本運動を中心に取り組んでいる。基本的な運動や遊びを通して身体の使い方を知り、簡単なルールのある活動の中で、友だちと一緒に体を動かす経験を積み重ねている。その中で、全身を思い切り動かす感覚を身につけ、身体を動かす楽しさ、おもしろさや心地よさを味わったりすることをねらいとしている。

## 6) ことば・かず

日常生活で使う言葉や簡単な文を読み書きや、具体物の操作や分類・集合・数量などの学習を学級集団または、縦割りのグループ活動で指導している。ことば・かずの知識のみならず、情動の安定、物事の因果関係の理解や身近な人とやりとりしたりする力を養うことをねらいとしている。学習したことを日常生活の中で発揮できるように、個や集団に応じた柔軟な指導が工夫されている。

## 7) 個のニーズに基づく授業（自立活動）

### (1) ミックスジュース

個別教育計画における社会性領域の優先目標に基づき、目標別にグループ編成され、個のニーズに基づいた授業づくりをしている。グループ編成や指導内容は、年度ごとに検討され学習内容表上

は、関係の形成と集団参加領域、コミュニケーション領域の学習内容が扱われる。グループの内容の例として、対人的なゲーム活動（ペア）を通して、役割理解と遂行などの学習、そして、簡単なゲーム活動、やりとり遊びや歌を通じて、ルールや役割の理解の学習、また、音楽・身体活動を媒介にした楽しさの共有体験を通して、自信をもって他者へ向かう力や自ら活動に参加する力を育む授業などが展開されている。

## （２）べんきょう

個別教育計画上の課題に基づき、学級集団において、毎朝べんきょうの時間が設定されている。認知学習領域を中心にしながら、個々のニーズに応じて、身体・運動領域、情操領域などの学習内容も扱っている。

## ８）特別活動

### （１）学級活動

朝のあつまり（朝の会）や帰りのあつまり（一日のまとめ）を行い、日課への見通しを助ける活動として設定している。

### （２）学部活動

部内の児童の交流をはかり、児童相互のかかわりを深め、集団活動を高めることをねらいとして、「学部集会」「共通の単元授業」、「行事の事前事後学習」などを計画的に行っている。

### （３）学校行事・学部行事

入学式、合同朝会、運動会、大塚祭、卒業式等の全校行事に加えて、学部の恒例の季節行事や学部の校外学習など、計画的かつ柔軟に企画されている。

### （４）交流および共同学習

毎年、附属小学校と交流および「共同学習」「共生」のあり方について検討している。野外での芋掘り交流会や互いの学校訪問など継続的な学習機会を設け、発展的な交流活動ができるよう、保護者へも理解・協力をうながしている。

## ４．学級編成

学級編成	児童数		学級担任数
はな組	1年	4名	3名
	2年	4名	
つき組	3年	4名	3名
	4年	4名	
そら組	5年	4名	3名
	6年	4名	
学部主事 1名			

## 5. 週時程表

### 1) はな組 (1・2年)

	時間	月	火	水	木	金
1	8:40~9:00	合同朝会 着替え	着替え			
2	9:00~9:40		べんきょう／あそび			
3	9:40~10:10	べんきょう／ あそび	あつまり			
4	10:20~10:50	あつまり	課題別グループ学習			うんどう
5	10:55~11:15	うんどう				生活／ ことば・かず
6	11:20~12:00	生活	造形	音楽	体育	
7	12:00~13:30	給食 あそび				
8	13:30~14:00	着替え 帰りの会				

### 2) つき組 (3・4年) / そら組 (5・6年)

	時間	月	火	水	木	金
1	8:40~9:00	合同朝会 着替え	着替え			
2	9:00~9:40		べんきょう／あそび			
3	9:40~10:10	べんきょう／ あそび	あつまり			
4	10:20~10:50	あつまり	課題別グループ学習			うんどう
5	10:55~11:15	うんどう				生活
6	11:20~12:00	生活	造形	音楽	体育	
7	12:00~13:30	給食 あそび				
8	13:30~14:00	着替え 帰りの会		13:50~生活／ことば・かず ~14:30		着替え 帰りの会
9	14:00~15:00	/		着替え 帰りの会		/

## 6. 年間指導時数

(1 授業時間=45分換算)

		月	火	水	木	金	合計(分)
日常生活の指導 (着替え、遊び、排泄) (給食)		70	70	70	70	70	650
		60	60	60	60	60	(14h 4/9h)
自立活動 (べんきょう)  (課題別グループ学習・生 活単元学習等)		30	30	30	30	30	150 (3h 1/3h)
	はな	40	30	30	30	20	150 (3h 1/3h)
	つき そら	40	30	50	50	20	190 (4h 2/9h)
音楽		0	0	40	0	0	40 (8/9h)
造形		0	40	0	0	0	40 (8/9h)
体育		20	20	20	60	30	150 (3h 1/3h)
ことば・かず	はな	0	0	0	0	40	40 (8/9h)
	つき そら	0	0	40	40	0	80 (1h 7/9h)
特別活動 (合同朝会等) (あつまり)		60	30	30	30	30	380
		40	40	40	40	40	(8h 4/9h)
合計	はな	320	320	320	320	320	1600 (35h 5/9h)
	つき そら	320	320	380	380	320	1720 (38h 2/9h)